

公共事業事前評価調書(令和4年度予算要望)

所管課:都市計画・モノレール課

担当班:都市モノレール室

事業名	沖縄都市モノレールバリアフリー交通施設整備事業	事業区分	道路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	那覇市字古島				
事業の諸元	自由通路改修 自由通路製作架設、昇降機設置、基礎工、各一式				
事業の概要	モノレール古島駅において、車いす利用者等が国道330号にある古島駅前バス停へのアクセスが困難となっていることに伴い、エレベーターの設置及び自由通路・階段の改修工事を行う。				
事業の 必要性・効果 等	<必要性> 沖縄都市モノレール古島駅は現在、車いす利用者等が国道330号の古島駅前バス停にアクセス出来ない状況である。この状況は「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に則していないものであり、早急な対応が必要となっている。 <効果> 車いす利用者等が、安全かつ円滑にバス停まで移動することが可能となる。				
事業期間	事業採択	令和 4年度	完了(予定)	令和 5年度	
全体事業費	275,000 (千円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
事業着手の 熟度・上位計 画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画【改定計画】(平成29年5月)における基本施策として、まちづくりにおけるユニバーサルデザインの推進が位置づけられており、公共交通施設におけるユニバーサルデザインの導入を図ることとしている。				
環境への配慮	景観計画に配慮し、沿線の景観に調和するよう努める。				
関係する地方 公共団体等 の意見	平成30年9月、地域住民より車いすの移動に支障があるとの連絡あり 平成30年10月、沖縄県警本部と調整、同年12月、那覇市身体障害者福祉協会と調整 上記調整意見を踏まえ、予備設計実施済み				
概要図 (位置図)					